

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



9

September, 2021
vol. 434

コロナ禍、できる・繋がる活動



Contents

建築探訪（東京オリンピックにまつわる仮設建築探訪）	01
会員仕事紹介（地域に貢献）	03
支部だより（横須賀支部—なんでも相談・座間支部—支部活動）	05
旅行記（横浜支部西地区建築研修旅行）	07
外部活動報告（横浜市消費者協会）	09
編集者のつぶやき（空）	10

東京オリンピックにまつわる仮設建築探訪

株式会社ポロスデザインシステム一級建築士事務所 白井 勇

2020東京オリンピックがコロナ禍の中、さまざまな話題と共に開催されました。

今回は、感動的な熱戦が繰り広げられたメインの会場ではなく、あえて違う目線で仮設建築についてメダルに例えて紹介したいと思います。

金メダルは、藤森照信氏設計の茶室「五庵」。この作品は、『パビリオン・トウキョウ2021』のひとつとして新国立競技場を中心とする複数の場所に建築やオブジェを設置し、自由に新しい都市のランドスケープを提案する試みで、その1つがこの茶室です。藤森氏のコメントによれば、

「私は高いのが好きなんです。茶室自体が周りからよく見え、そこからさらに競技場を見る。お茶室っていうのは別世界性が必要なんです。地上にあるより、やっぱり高さが必要で、高いところに登って、狭くて暗いにじり口から上がっていくと、景色が違って見える。この効果は茶室ならではのものです。」

この言葉から創造する光景、何かアンチテーゼのようにも聞こえ、巨大な競技場を空中に浮かぶ4畳半の小さな茶室から愛でるという洒落た感覚、素晴らしい藤森ワールドでした。



五庵茶室

銀メダルは、新国立競技場前に建設？設置？された、国内外の各放送メディアが中継する特設スタジオのブースを空中に浮かせた構造物。

IOCとのやり取りで2階になったり3階になったりと、これもいろいろエピソードがあるらしいのですが、とにかく「おもしろい」。多分、地下工事等でよく使用される切梁材を組み合わせた中にプレハブのブースをはめこんでいるのでしょうか。その出入口の扉もデザインされ、さすが〇〇建設かな？周りはプレハブでも、新国立競技場を映し出すTV画面とは別に、スタジオは実と虚の世界を見事に分けられている。



「五庵と五輪」

新しい材料と技術の使用、構造の合理的表現、建築空間の分析、それは合理主義建築？
とにかく、サビ止めの赤茶色の持つ力強い骨太な鉄骨は迫力満点！！前世紀の構成主義建築！



オリンピック中継用仮設スタジオ



仮設スタジオと観客入場用ゲート



仮設スタジオ「TOKYO2020」

銅メダルは、ほんとうの仮設、青海アーバンスポーツパークと、有明アーバンスポーツパーク。3×3バスケットボールとスポーツクライミングの会場であった青海アーバンスポーツパークは、短期間で早変わりした施設で、新競技の3×3のスピード感溢れるプレーが目の前で見られ、もの凄い歓声が想像できます。残念ながら無観客でしたが、これからのスポーツ観戦の形が分かります。

有明アーバンスポーツパークの自転車BMXレーシングとスケートボードの会場も、施設として残したら子供たちにとってもそのスポーツのメッカになりそうな施設です。残したいという動きもあるようですが。（会場の画像は、東京オリンピックHPにてご覧いただけます。）

そして番外では、あちこちに貼られた「TOKYO2020」のサインシート。

新国立競技場も、それなりに恰好が合ったかな。霞ヶ関カンツリークラブの放送ブース用のプレハブの建物も、それを貼ったらPGAツアー並みの感じが出ていました。

とにかくまあ無事に閉会式を迎えましたが、一日でも早いコロナの終息を願います。



新国立競技場「TOKYO2020」

地域に貢献

瀬戸建設(株)一級建築士事務所 竹縄 光生

私が瀬戸建設(株)にお世話になって、早18年がたとうとしています。入社前は、大学を卒業して某設計事務所にお世話になり、県内の文教・学校等の公共建築、ビル商業・福祉施設等の設計をし、入社後には、木造設計も手掛けるようにもなり、幾多の法改正とともに時代を過ごしてきました。そんな中、ここで弊社の比較的直近の建物2例をご紹介します。

1 多目的広場 公衆トイレ (小田原市早川) …設計・監理 (施工は他社)

場所は小田原漁港の南西側、漁港の駅アプローチ道路沿いの県多目的広場にあります。上部には西湘バイパスが石橋までのびており、真鶴・湯河原方面への135号線との合流とともに、交通の要所となっております。設計条件として、ユニットを使用することが上げられ、当初前設計の見直しとのものでしたが、思惑とはことなり、一から配置・プラン・外構・更には、色彩計画も含めた監理までの業務を遂行させていただきました。



建物においては、海岸線、漁船等の停泊に近く、波のイメージ、帆のイメージ、更には小田原提灯からの行灯イメージを取り入れ、海のさわやかな色彩計画と清潔感をこころがけました。

又夜9時まで利用可能なので、機能的にも、防犯上にも配慮することとなりました。



2 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 小田原キャンパス城内校舎(小田原市南町) …設計監理

2016年 旧県立小田原城内高校校舎跡地に、記憶の継承とともにオープンしました。

この丘陵地においては約4000年前の縄文土器が出土し、小田原城天守閣への眺望、相模湾・真鶴半島を望む土地柄にあり、文化的にもこの上ない学びの場となっています。

敷地は景観重点区域でもあり、桜の木などの既存樹木へも配慮したプロムナード、更には桜の路、イベント地域交流広場、つつじの丘を新に配し、修景植栽ラウンドスケープを心掛けました。建物においては新校舎の他 既存体育館においては耐震改修・特定天井への対応を施して、再利用を図り、1階においては新たに近隣住民の方も利用可能な厨房、食堂、売店エリアとなりました。

内部においては、全体的に学生のさわやかな明るい、躍動感あふれる色彩計画とし、機能性を重視したエリアレイアウトとなっております。



最後に、弊社企業理念に「建設を通じて地域の発展に寄与すること」とありますように設計においても、これからも、街づくりの一端を担えたら、幸いです。

「建築士によるなんでも相談」

昨年からのコロナ禍の影響で思うように活動できない中、2020年5月号の支部便りに掲載した「横須賀支部の夢」のうち1つの夢が叶いましたのでご報告させていただきます。

横須賀支部では昨年の9月より地元のFM局「FMブルー湘南」のご協力により毎週日曜日の11：10頃から約30分「建築士によるなんでも相談」というコーナーを設けさせていただきました。

このコーナーは法定団体としての建築主等の利益保護を図る観点より、市民が普段、気軽に建築関係のことにに関して相談できる場が無いことから、(特にコロナ禍の昨今、会場を借りての建築相談会等の開催は無理な状況から)ラジオを通じて相談の場をつくり、同じような悩みを抱える方にも聞くことで少しでも貢献できればと思っています。

収録は前月に行い、2本の収録を週ごとに交互に放送しています。

パーソナリティーは石川和美さん、地元出身のこともあり話題豊富で緊張気味の私たちを楽しく誘導してくれます。担当者は横須賀支部の会員だけでなく、横須賀市役

第1回目の収録 石川さん、小泉支部長、高戸副支部長

所の方にも協力してもらい横須賀市の情報も発信しています。

また、昨年の12月には横須賀らしい谷戸コミュニティーを形成するアーティスト村「YOKOSUKA VALLEY HIRAKU」からの現地取材や



小山副支部長、石川さん

横須賀支部長

株式会社アステック建築事務所 小泉 厚

インタビュー等、スタジオを飛び出しての活動も行い、今後も活動の範囲を広げていこうと模索中です。

さらに、今までは日曜日だった放送もこの8月からは第1、3木曜日19：00～20：00の間にも流してもらえることとなりました。

ここで今までの放送内容を一部紹介させていただきます。

- 「(一社)神奈川県建築士事務所協会とは」
- 「横須賀支部の委員会の紹介—建築相談委員会・福祉住環境委員会・木造耐震委員会」
- 「耐震改修工事を伴うリフォームについて」
- 「建替えかリフォームか」
- 「お勧めできないリフォームについて」
- 「屋根の訪問営業の相談」
- 「改正省エネ法について」
- 「景観条例、空き家への取り組み、アーティスト村について(横須賀市まちなみ景観課より)」
- 「土地購入の相談」「ブロック塀の相談」「雨漏り修理の相談」
- 「建築士の役割とは(八王子の共同住宅階段崩落事故を受けて)」
- 「建築士を目指している子供たちへ、将来どのような選択があるか」
- 「神奈川県立横須賀工業高校に建設科設立について」

等々いろいろな話題を提供しています。

是非とも、日曜日 11：10頃、**78.5MHz**

FMブルー湘南をお聞き願えればと思います。

※FMブルー湘南のHPを開いていただければ聴取できます。<http://yokosukafm.com/>



アーティスト村での取材風景

座間支部だより

この会報が皆さんの目に触れるころこのコロナ禍の行方はどうなっているのだろうか。

とにかくこのコロナ感染が早期に収束してくれることを願うばかりである。

座間支部でも去年の活動は、ほとんどと言っていいくらいできなかった。

私達の活動は、主に座間市の無料耐震相談、各種座間市のイベントへの参加等である。昨今の消費者保護の観点から、地元商工会と協力して広報イベントの開催を去年から行っている。コロナ禍ではあったが、去年は初めてイオンモール座間にて座間商工会の仲間たちと広報イベントを行ったことが印象に残る。子供たちと木工体験やバードコール作成等、親子で参加してもらうイベントであった。皆さん楽しんで取り組んでいる姿を見て主催者としても有難くまた嬉しい出来事でもあった。このコロナ禍にもめげず今期もこの様なイベントが出来たらと思っている。



イオンモール座間イベント広場での木工体験等のイベント

座間支部長

耕一級建築士事務所 伊藤 耕人

耐震相談については、昨今相談者は減少傾向であり、その存在意義が問われており、座間市当局と話し合いの上、市各自治会に出向いての広報活動や相談会の開催等、「待ち」から「攻め」の活動を今期は展開するため工程を練っているところである。



座間市総合防災訓練での耐震相談ブース

また仕事づくりという観点から、愛川町や小田原市を参考にさせていただきながら、市内施設の定期点検業務の受注についても検討を始めている。地元密着を信条としている座間支部だが、13会員のうち建設業と兼業している会員が5社あり、また賛助会の会員も含めこの方たちが、まさに地元密着の建築を展開しており、忙しい中折々のイベントなどでの木工体験などで活躍してくれている。小さな支部だが仲が良いという強みを生かし助け合いながら支部活動を深化させていきたいと思っている。



横浜支部西地区建築研修旅行（西地区会員の故郷への旅シリーズ）

有限会社イソダ設計 磯田 和良

西地区会員の毎年催される研修旅行は、コロナの蔓延で今年も危ぶまれております。

今迄で特にユニークな旅、西地区会員の故郷を巡る旅シリーズはその人の生い立ち、人情、友達、空気感、歴史が垣間見えるようで心が癒される思いでした。

研修旅行の目的は建築物を主として、著名建築家の作品、社寺仏閣、そして私（ホテル旅館を主に設計している立場上）の我儘を少し取り入れて頂く、又その地域の美味しい料理とお酒が目的です。

本題の研修旅行は、平成21年に鹿児島県出身の平山正義さんの故郷を巡る研修旅行です。

当然平山さんの旅行企画でそれに参加する会員の希望を盛り込み出発、ご実家は知覧町（特攻隊の前線基地が在ったところ）丁度稲刈りの真っ最中で我々は挨拶だけで退散、ご実家宅に茶の用意がされており、休憩させていただいた。昔風の農家だが流石鹿児島！天皇陛下の写真でなく、西郷隆盛の像が飾ってあった。気さくなご実家の皆さんに心癒される。感謝！！



平山さんの実家稲刈り



武家屋敷群



知覧特攻平和会館

一生に一度は拝観したい知覧特攻平和会館に緊張して入館。始めは毅然とした態度で閲覧していたが、幼い特攻隊員の最後の肉筆のメモを読むと涙が止まらない状態に、人目を憚って涙を拭う。

今回の目的の一つに森伊蔵を飲むこと。城山観光ホテルで一升びんゲット、総勢11人では瞬間に胃の中に消えた。



森伊蔵を囲んで



プレミアム森伊蔵

翌日は島津光久の別邸仙巖園を見学、偶々桜島の噴火に遭遇、噴煙を背景に記念写真を撮る。明治維新前の近代化を進めた島津藩と徳川幕府の対峙の歴史を学ぶ。そして西南の役、西郷どんの最後の地「もう、ここらでよか」を見学、当時の目まぐるしい時代変化を確認。次に指宿温泉白水館の砂風呂を体験、ここでも森伊蔵を堪能、翌日の昼食時も森伊蔵を嗜み鹿児島空港から帰京した。平山さん、ありがとうございました。



桜島の噴火をバックに



仙巖園 別邸



白水館の砂風呂

続いて、平成22年は私、磯田和良が担当。実家で過ごした時間は18歳で上京するまでの間です。ここで私は、事前に故郷の探索にそして確認にひとり旅をし、しっかりガイド出来る様にと準備しました。愛知県豊橋市出身なので歴史を辿るというテーマで戦国時代に遡り、織田信長が組織的鉄砲隊で武田軍へ壊滅的な打撃を与えた長篠城の合戦場を見学、当時の鉄砲の性能は鉄砲鍛冶の発達で世界的にトップクラスだったらしいと記述あり、ここでも日本のものづくりの根源があったのかと思った。



合戦場の馬防柵

この後、豊川稲荷で商売繁盛を祈願、そして渥美半島の先端部に近いホテルに泊まり、眺望が最高で夕日と朝日を拝むことができるのだが、前日の飲み疲れで日の出は断念。

翌日フェリーで伊勢神宮参拝、(平成5年に式年遷宮の色々な行事が催され、御白石持行事に特別神領民として、参加したのを思い出しました。)そして、お祓い横丁、おかげ横丁によりながら、食事と散策。



豊川稲荷



伊良湖ビューホテル



伊勢神宮

そして、伊勢志摩の海の博物館（内藤廣設計）に行く途中で、当時嵐を体験できる宿として、人気の？御宿ジ・アースを偶然に発見、強引に見学した。（但しパブリック部分のみ）

次の日は、平城京遷都1300年に馳せ参じ大極殿見学、奈良といえば東大寺、正倉院、薬師寺と盛沢山に見学研修し、そこから200キロ以上走り豊橋にてレンタカーを返却、予定外だったが小学校同級生（初恋の人）が経営するうなぎ屋の女将の店で夕食、新幹線で帰る。想定外の連続だった。皆さん、お疲れ様でした。

その他にも、徳島県（田岡照良氏）、山形県（庄司登氏）、長崎県（岡本堯久氏）の研修旅行等ありますが、紙面上割愛させて頂きました。

その人の出身地を訪ねて巡る旅行は何れも大変面白く記憶に残る思い出でした。



海の博物館



御宿 ジ・アース



平城京・大極殿



うなぎ屋の女将

外部活動報告

当会の外部活動について ～その1～ 横浜市消費者協会

横浜支部 株式会社 A&A設計室 雨森 隆子

・覚書

(公財)横浜市消費者協会と当会は、住宅の施工に係る調査、診断及び専門的助言の事項について覚書を締結しています。この期間は、1年となっています。

・依頼の流れ

業務は、必要が生じたとき、横浜市消費生活総合センターの指定管理者である横浜市消費者協会(以下、センター)から当会に依頼されます。

当会は、依頼されると、会員の中から、建築物等調査・鑑定業務登録の建築事務所を選任し、推薦することとなっています。

実際は、横浜市在住の消費者から、センターに相談される案件ですから、業務範囲は、横浜市内となります。

当会へ依頼があると、当会事務局より、横浜支部事務局へ連絡があります。

支部事務局は、豊かなくらしと住まいの相談室の相談員に依頼し、受託できる会員を決定します。

・依頼事項及び業務

住宅の施工に関する調査、診断及び専門的助言を行う事とされ、センターの担当相談員と調査対象住宅を訪問します。(調査等の時間は、1時間から2時間)

事前に、センターから依頼を受けた会員へ、依頼書(対象住宅、所有者の情報、工事内容、施工業者等の情報)、契約書、見積書、図面等が送付されます。

工事関係書類、工事実施内容等の確認、調査、施工箇所を目視し、工事の適否等について診断します。また、相談者への助言、住宅工事・建築診断実施報告書を作成し、提出します。

センターが、より詳細な現認・資料等が必要と判断した場合は、現認調査を作成します。

上記の書式および料金、支払について、覚書に記載があります。

・事例から

住宅のメンテナンス業者に、無料配管掃除をしてもらった事から、次々と住宅に瑕疵等があると指摘され、業者に言われるまま、不適切な見積、工事をしてしまった住宅。



横架材工ボキシ樹脂塗布・柱欠損



CB+ブラ束

このような事にならない様、当会としてできる対策の検討や法整備を望むばかりです。

新入会員のご紹介

退会者

横浜支部

有限会社山口設計室 山口 徹

川崎支部

島崎建築設計事務所 島崎 修

株式会社系一級建築士事務所 河本 義彦

株式会社Kプランニング一級建築士事務所 川本 英司

大和綾瀬支部

日本住宅ツーバイ一級建築士事務所 藤澤 純

変更

横浜支部

有限会社森山建築設計事務所
(事務所所在地、TEL、FAX変更)
〒234-0054横浜市港南区港南台2-7-7 第2寺田ビル302
TEL.045-350-2233/FAX.045-350-2204

株式会社梓設計横浜支社
(事務所名変更)
旧) 株式会社梓設計横浜事務所

株式会社TERRAデザイン一級建築士事務所
(TEL変更)
090-8727-7933

川崎支部

長友建築研究室
(事務所名、所在地変更)
〒214-0013川崎市多摩区登戸新町426-2-501
旧) 株式会社4 d p長友建築研究室一級建築士事務所

一般社団法人川崎市建築設計事務所協会一級建築士事務所
(指定代表者変更)
岩田 崇

横須賀支部

Archi-JAM Workshop 合同会社 一級建築士事務所
(事務所名変更)
旧) Archi-JAM Workshop

湘南三浦支部

一級建築士事務所榎原事務所
(事務所名、TEL、FAX変更)
〒239-0833横須賀市ハイランド4-27-15
TEL046-848-5388/FAX046-874-5094

鎌倉支部

たなはしゆか建築設計アトリエ
(事務所名、TEL変更)
〒248-0007鎌倉市大町1-16-19
TEL050-3749-1572

厚木支部

積水ハウス株式会社神奈川シャーメゾン支店一級建築士事務所
(指定代表者変更)
大崎 俊明

株式会社小島組一級建築士事務所
(指定代表者変更)
小松 猛

秦野支部

M設計一級建築士事務所
(事務所所在地変更)
秦野市南矢名2-8-7 メゾンさくら101号

賛助会入会者

株式会社アサップ

会 勢

支部名	令和3年8月15日現在				
	令和3年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 濱	252	251	5	6	-1
川 崎	106	105	2	3	-1
横 須 賀	52	52	0	0	0
湘 南 三 浦	17	17	0	0	0
藤 沢	33	34	1	0	1
鎌 倉	39	38	0	1	-1
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0
平 塚	22	22	0	0	0
秦 野	14	14	0	0	0
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大和綾瀬	19	18	0	1	-1
厚 木	29	30	1	0	1
座 間	13	13	0	0	0
海老名	16	16	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相模原	63	63	0	0	0
県 西	38	38	0	0	0
合 計	741	739	9	11	-2
賛助会員	102	101	2	3	-1

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき



雲をみるのが好きなんだ

そう眩いた彼の瞳はどこまでも澄んでいて美しい
台風10号と9号が過ぎ去った翌日
ちょうど夕陽が沈んだ後の海岸
夕陽を背にゆっくり歩いた
振り返ると紫色の放物線を描く富士山
もう少し先に進めば全体の綺麗なシルエットを眺めることができる
けれど、ちょうど全体を眺められる場所には混雑というほどではないが、進むのに抵抗を感じさせる程度の人影が散らばっている
無理せず来た道を引き返すことに決めた二人の先には夕陽に輝く雲とそれが映り込む波打ち際が広がっていた
見あげた空はどこまでも青く美しい
なんでもない一日の終わり
共に時間を過ごすことがただただ
しあわせ

(鎌倉支部 アトリエ空庵 中原 尚代)

KANAGAWA 令和3年9月号 (通号434号)

発行 令和3年9月1日 (奇数月1日発行)
発行人 白井 勇
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担当副会長 杉本 勝郎 小松 正道
会報誌編集特別委員長 小泉 厚
会報誌編集特別副委員長 加藤 一郎
会報誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆
森本 和樹 戸井田 顕
中原 尚代 仙波 弦
事務局 久保田 千尋



今月の表紙

横浜市役所（新市庁舎）

横浜市新庁舎は、令和2年1月末日完成。地上32階地下2階。設計者は、槇文彦（デザイン監修）、竹中工務店、他。施工は、竹中・西松建設共同企業体。構造は、鉄骨造一部鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造である。約6400人の職員が勤務。この機に、「横浜市役所」と呼称を統一。

正式移転は6月1日。移転前からの案件があり、早々に市役所へ。3階が受付、行き先を伝え、入館証を受け、ゲートの先がエレベータホール、25階の宅地審査課へ。戸惑いながらの初市役所でした。

この市役所は、8代目。7代目の前市役所は、JR関内駅前の重厚感のある建物（S34年築 村野藤吾設計）と対照的な市役所。昨年、開催された槇文彦氏の講演、作品展を思い出し、横浜市の歴史や未来へのデザインと最先端の設計施工に感銘を受けながらも、新市役所に愛着を感じる様になるのは、当たり前かもしれませんが、時が必要と思った次第です。

表紙写真/小河 泰隆 文/雨森 隆子